

千 谷 消 防 団



●今月の主な内容

- 市展・総合文化展入賞者…………… 2～3
- 医療シンポジウムを開催しました…………… 4～5
- 中越大震災から9年…………… 6
- 一歩先ゆく健康づくりはお口から…………… 10～11
- 【新連載】おじゃまします サークル訪問…………… 12
- お知らせ・健診日程…………… 12～16

地域住民のため、走る！

消防団ポンプ操法競技会予選会

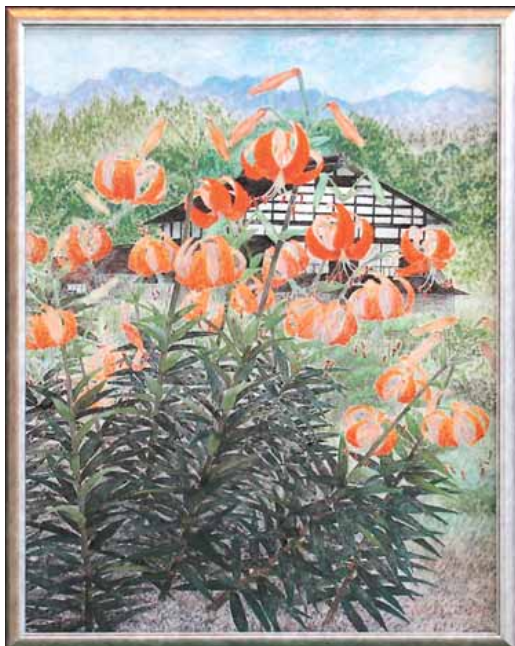
10月20日(日)、白山運動公園でポンプ操法競技会予選会が行われ、雨が降りしきる中、各分団の代表選手が日ごろの鍛錬の成果を披露しました。競技を終えた分団には、観覧に訪れた方々や他の団員から温かい拍手が送られていました。

市展・総合文化展入賞者

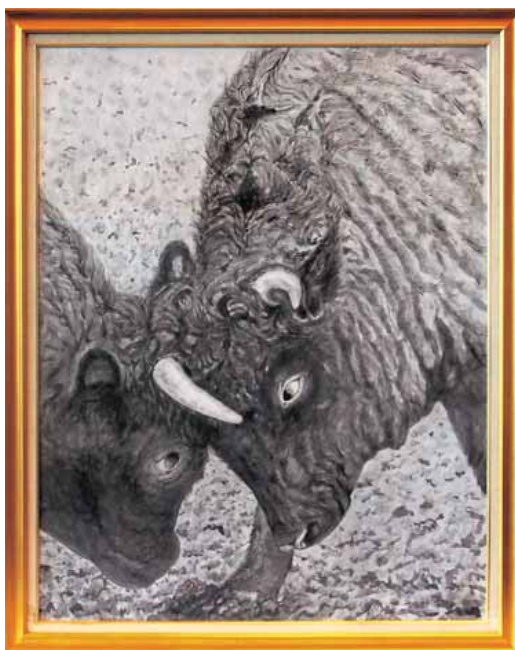
第33回小千谷市展・小千谷市総合文化展が11月1日(金)から4日(休)まで、東小千谷体育センターで開催されました。

審査の結果、次のみなさんが入賞されました。市長賞作品をご紹介します。

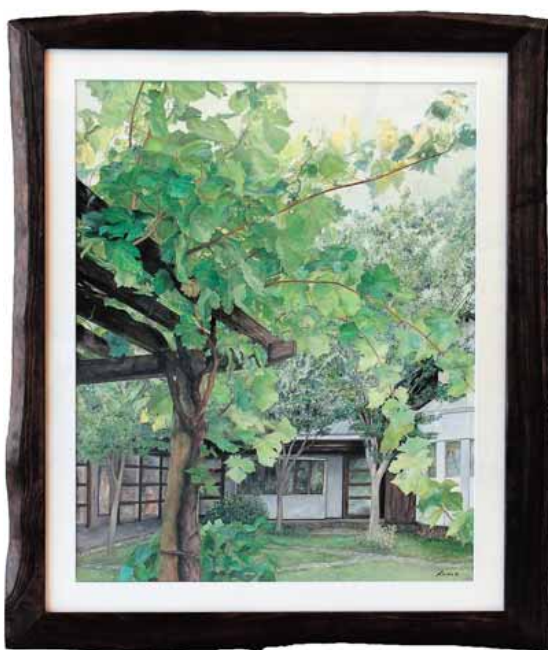
市長賞作品



△日本画の部/和田イツエさんの作品『盛夏』



△水墨画の部/風間久司さんの作品『激戦』



△洋画・版画の部/小林礼子さんの作品『伸びる』

市展入賞者 (敬称略)

■ 日本画の部 (出展数19)

- ◎ 市長賞/和田イツエ (三仏生)
- ◎ 新潟日報美術振興賞/渡部明利 (城内4)
- ◎ 奨励賞/横田ハル子 (平沢1)
- ◎ 佳作/山本令子 (元町)

■ 水墨画の部 (出展数37)

- ◎ 市長賞/風間久司 (本町1)
- ◎ 新潟日報美術振興賞/佐山英一 (稲場)
- ◎ 奨励賞/佐藤明 (桜町上)、岡元敏子 (千谷川2)
- ◎ 佳作/元井百合子 (千谷川2)、山崎辰二 (稲荷町)、齋藤正夫 (城内1)、島川幸子 (元町)

■ 洋画・版画の部 (出展数37)

- ◎ 市長賞/小林礼子 (二之町三区)
- ◎ 新潟日報美術振興賞/佐藤美栄子 (稗生)
- ◎ 奨励賞/平沢博子 (上ノ山3)、須田勝典 (木津団地)
- ◎ 佳作/増川美一 (木津町)、山崎伸子 (上ノ山4)、瀬沼哲夫 (船岡3)、原田芳克 (桜町下)

■ 書道の部 (出展数44)

- ◎ 市長賞/高野俊英 (川井本田)
- ◎ 新潟日報美術振興賞/坂大優一 (魚沼市)
- ◎ 奨励賞/山田和美 (東栄3)、長井洋子 (稲荷町)

● 問い合わせ/生涯学習スポーツ課生涯学習係 (総合体育館内) ☎83・0077



△菊花の部／西村秀明さんの作品
『国華金山』



△工芸・彫塑の部／佐藤一枝さんの作品
『冬映え』

▷書道の部／高野俊英さんの作品『星』



▷写真の部／吉田雄一さんの作品
『朝日に照らされて』

審査員（敬称略）

- 日本画の部／関登美恵（日展会友、日本画院会員）
- 水墨画の部／関登美恵（日展会友、日本画院会員）
- 洋画・版画の部／杉森企観明（一水会常任委員、日展会友）
- 書道の部／真壁春彩（創玄書道展一般部審査員、墨遊舎副理事長）
- 写真の部／天野尚（世界環境写真家協会会長、社日本写真家協会会員）
- 工芸・彫塑の部／河面元（日展会友、日本現代工芸美術家協会本会員）

総合文化展入賞者（敬称略）

■ 菊花の部（出展数106）

- ◎ 市長賞／西村秀明（千谷）
- ◎ 奨励賞／藤田澄子（桂）、渡辺勇二（千谷川2）
- ◎ 教育長賞／岡元賢治（船岡1）
- ◎ 公民館長賞／大洲イツ（市ノ口）

■ 工芸・彫塑の部（出展数42）

- ◎ 市長賞／佐藤一枝（本町1）
- ◎ 新潟日報美術振興賞／石坂佑太郎（上ノ山1）
- ◎ 奨励賞／山本直子（旭町）、黒崎剛（四之町）
- ◎ 佳作／岡元直人（千谷）、星野鉦二（平沢1）、内山ヨシイ（町裏）、明戸美津江（船岡2）

■ 写真の部（出展数112）

- ◎ 佳作／大塚恵子（山寺）、齊藤里奈（栃木県足利市）、川上舞（小千谷高校）、新保由美子（千谷）
- ◎ 努力賞／中山桃花（小千谷西高校）、椋沢亜実（小千谷高校）、新野瑞穂（小千谷高校）

- ◎ 市長賞／吉田雄一（四ツ子）
- ◎ 新潟日報美術振興賞／村山栄一（十日町市）
- ◎ 奨励賞／磯野武（長岡市）、和田均（元中子）、新保勲（東栄2）

- ◎ 佳作／茂野誠一郎（長岡市）、新保暢一（東栄1）、細金春男（若栃）、和田實（城内2）、樋口茂文（上ノ山5）、中林義雄（長岡市）、大淵順次（平沢2）、目崎芳朗（上ノ山3）、南雲秀之（小栗田）、小幡トミエ（長岡市）、大塚三男（土川2）



医療シンポジウム 開催

10月12日(土)、市民会館で『市民が安心して暮らせる地域医療』と題して、医療シンポジウムを開催しました。

第一部「基調講演」

第一部では、元新潟大学学長で、現在新潟県福祉保健部参与の荒川正昭さんによる『地域医療の現状と課題』と題した基調講演が行われました。

まず荒川さんは、地方の病院が深刻な勤務医不足に陥っている状況で、新潟県で進められている医師養成の取り組みや、救急医療体制確保のために各医療機関と連携していく必要があることを説明されました。

そのうえで、小千谷市の地域医療を守るために進められている統合新病院のあるべき姿についてご指導、ご助言をいただきました。



第二部「パネルディスカッション」

第二部では、『市民が望む医療と統合新病院の役割』と題したパネルディスカッションが行われました。

パネリストとして(公財)小千



谷総合病院院長の家里裕さん、小千谷市魚沼市医師会副会長の澤中信行さん、谷井小千谷市長よりそれぞれの立場から統合新病院に対する意見が交わされました。そして、事業主体である厚生連魚沼病院院長の高橋達さんより、平成28年10月に開院予定の(新)小千谷総合病院の病院機能などの報告が行われました。

また、シンポジウム開催にあたり、市民のみなさんより事前にご意見をいただき、医師確保への課題、診療科目、新病院への交通アクセスなどのご意見に対し、パネリストにそれぞれの立場からお答えいただきました。

■問い合わせ／総務課病院統合支援室 ☎ 83・1880

当日は来場されたみなさんに新病院に関するアンケート調査を実施しました。(左ページ参照)

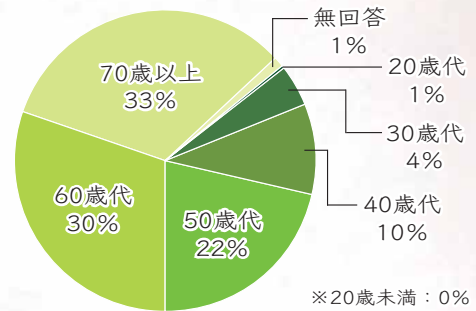
(新)小千谷総合病院の概要(予定)

- 開院時期／平成28年10月
- 経営主体／新潟県厚生農業協同組合連合会
- 診療科／21科
- 病床数／300床
- 主な機能／
 - ▷救急医療機能の整備
 - ▷人工透析センターの整備
 - ▷周産期医療の充実
 - ▷リハビリ機能の充実
 - ▷臨床研修指定病院としての機能
 - ▷保健・介護・福祉の一体的なサービスの提供

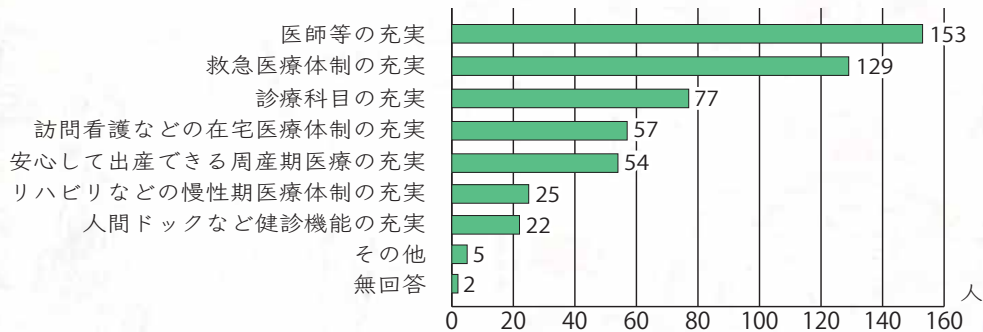
医療シンポジウム 会場アンケート調査結果

1. あなたの性別をお答えください。 2. あなたの年齢をお答えください。

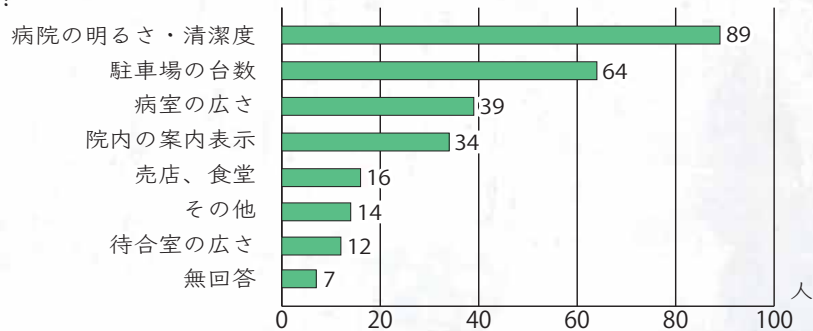
	人数	割合
男性	88	47.3%
女性	98	52.7%
計	186	



3. (新)小千谷総合病院に期待する医療機能等は何ですか？



4. (新)小千谷総合病院の施設・設備の面で特に力を入れてほしいものは何ですか？



5. (新)小千谷総合病院の建設にあたり、周辺環境でもっとも配慮してほしいものは何ですか？



アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。いただいたご意見は、今後の病院建設などの参考にさせていただきます。

中越大震災から9年

- 1.大きな声で「花は咲く」を歌う吉谷小学校の児童
- 2.復興祈念シンポジウムで意見を述べる谷井小千谷市長
- 3.献花台の前で手を合わせる参列者
- 4.フルートとピアノによる追悼コンサート



2
3



4



平成16年10月23日に発生した新潟県中越大震災から9年が経過しました。10月23日(水)、市内では追悼や復興への願いを込めたさまざまな催しが開催されました。総合体育館では県や被災市による「10・23のつどい」が開催され、国会議員や首長、市民のみなさんなど、おおぜいの方々に参加しました。式典では、吉谷小学校の児童による「花は咲く」の合唱とメッセージが披露されました。

サンラックおぢやでは、防災グリーンツーリズムに関する復興祈念シンポジウムが開催され、泉田新潟県知事や田中杉並区長など4人のパネリストが広域避難などについて意見を交わしました。

楽集館の「おぢや10・23のつどい」では、会場の献花台におおぜいの方が花を捧げていました。また、フルートとピアノの追悼コンサートも行われました。



第32回おぢや健康福祉まつり



2



1

- 1.運動器具を使っでの体力測定体験（健康福祉展）
- 2.保育士による親子でふれあいコーナー（健康福祉展）
- 3.手作りコーナーの木端細工（福祉ふれあいフェスティバル）
- 4.太田ダムを歩く参加者（トリムウォーキング大会）



4



3

「増やそう健康習慣☆きらめく笑顔」をメインテーマに、第32回おぢや健康福祉まつりを開催しました。総合体育館を会場に行われた「健康福祉展」では、市内の保健、医療、福祉などの関係団体の展示や体験、専門家の相談コーナーなどさまざまな催しがあり、おおぜいの方が会場を訪れました。

サンラックおぢやでは「福祉ふれあいフェスティバル」が行われ、福祉団体による自主製品の販売、オカリナやピアノのミニコンサートなどの催しが来場者を楽しませていました。

白山運動公園発着の第36回小千谷トリム・ウォーキング大会では、15kmコースに52人、10kmコースに191人が参加し、山谷の太田ダムなど、昨年とは異なるコースを楽しみながら歩いていました。

こんにちはは！市長です

(79)



イタリアの下町のレストランで見
た忘れられない光景があります。一
方の大きなテーブルを囲んだ十数人
の男たちが、ワインを飲みながら和
気あいあいと食事をしていました。

すぐ隣の大きなテーブルでは、その
人たちの息子と思われる、やはり十
数人の小学生くらいの子どもたちが、
騒ぎもせず、めいめい自分の好きな
料理を注文して、実に行儀よく食事
をしているのです。日本ではあまり
見かけない光景なので印象に残り、
この国の親たちは、こんな方法で、
子どもに大人の姿を見せて訓練して
いるのかもしれないと、ずっと思っ
てきました。

先日、小千谷市で新潟県小中学校
PTA研究大会が開催されました。
この会で、小千谷市小中学校PTA
連合会の方が、小千谷の子どもたち
を健全に育成するために実践されて
いる活動を発表され、それは大変す
ばらしいもので、私も感銘を受けま
した。

その内容を一言でいえば、子ども
を健全に育てるために、まず大人た
ちがお手本となるように身を正そう、
と言うものでした。この趣旨に賛同

して、小千谷青年会議所も、「大人
が変われば子どもも変わる」、「魅力
ある大人の背中」の確立を目指して」
などの言葉が書かれたポスターを作
り、各所に掲げています。

確かに、どんな子どもも最初から
知識を持って生まれてきたわけでは
なく、すべて周りの大人の真似をし
て成長するわけですから、小千谷の
子どもがどう育つかは、100%小
千谷の大人の責任であることをしっ
かり自覚しなければ、と改めて感じ
た次第です。

(谷井 靖夫)



▷小千谷青年会議所が制作した啓発ポスターの1枚です。端的な言葉ながらも、自分を振り返らせるような内容が書かれています。

作ってみてね！この料理



きのこの白和え

<作り方>

- ① 豆腐はくずしてゆで、ふきんを敷いたザルにあけて水気を絞る。
- ② 人参は細切り、しめじ、えのきたけは石づきを取り、ほぐす。
- ③ 生しいたけは石づきを取り、千切りにする。②をサッとゆでて水気を切る。絹さやもサッとゆで、細切りにする。
- ④ あたり鉢にすりごまとくるみを加え、形がなくなるまでさらにあたる。①の豆腐を加え、滑らかになるまで混ぜる。材料Aの調味料を加えて味を調える。
- ⑤ ④に水気を切った③を加えて混ぜ合わせる。

📌今月のワンポイント

豆腐はカルシウムを多く含むので、乳製品が苦手な方はカルシウムの補給源におすすめです。また、きのこには食物繊維が多く免疫力を高めてくれる働きもありますので、植物性タンパク質と一緒に食べてください。

<栄養価> (1人分)

▷エネルギー154kcal▷たんぱく質10.6g▷脂質9.6g▷塩分1.0g



<材料> (4人分)

木綿豆腐	150g
くるみ	15g
すりごま	大さじ3強
しめじ	1パック
生しいたけ	大2個
えのきたけ	1袋
人参	20g
絹さや	30g
A { 砂糖	大さじ1.5
塩	小さじ½
しょうゆ	少々

■献立・調理 / 小千谷市食生活改善推進委員 (健康センター内) ☎ 83-3640

10 / 3 ~ 4

秋の実りを肌で感じた2日間



東小千谷小学校と東山小学校の5年生が、若栃で民泊体験をしました。これは児童に農山村地域のみなさんや自然とふれあうことで、地元よさを認識してもらおうと毎年行っているもので、東山小学校からは今回初めての参加となりました。

稲刈り体験では、地元・若栃の方の指導のもと、稲刈りから、わらで束ねて、はざかけする作業まで行いました。
児童は収穫の喜びや苦勞を感じ、普段当たり前のように食べている米に対する意識も変わったようでした。

10 / 5

ガス水道フェア2013

サンプラザで開催された「ガス水道フェア2013」には、開場とともにおおいの方が訪れ、最新のガス機器やお買い得商品などを見て回っていました。

水道に関するPRコーナーでは、来場者は水道水ができるまでの流れが描かれたパネルを見たり、小千谷市の水道水と市販されているミネラルウォーターを飲み比べたりして、自分たちが普段使用している水について知ることができたようでした。

また、たくさんの方の風船で作られた写真撮影コーナーやよし太くん焼きプレゼントコーナー、スタンラリー抽選会も人気で、会場はとてにぎわっていました。



10 / 6

うまいものを食べつつ
ご当地ヒーローを応援!



本町2丁目の国道を歩行者天国にして「小千谷うまいもの祭 & 本町イキイキ商業まつり」が行われ、小千谷のおいしい食を堪能しようと、おおいの方が会場を訪れました。

会場中央のステージでは、小千谷幼稚園、つくし幼稚園の園児たちがかわいらしいお遊戯を披露したほか、新潟県のご当地ヒーロー「超耕21ガッター」のショーが行われました。
普段テレビ越しに見ているヒーローの闘いを間近に見られるとあって、子どもたちは目を輝かせ、大きな声で応援していました。

10 / 6

あらゆる地名に 歴史あり

市民会館で図書館教養講座「小千谷の地名からその歴史の足跡を辿る」が開催されました。新潟県立図書館の福田則男さんを講師に迎え、地名についての基本的な話から、小千谷の地名の由来（ふきだし内に抜粋）などを講演していただきました。

「小千谷」…谷がたぐさんある地形から名づけられたのではないか。「小」には「百」という意味があり、「千」は文字どおり「千」で、「百」も「千」もたぐさんという意味である。しかし、個人的には「小」は「百」ではなく、接頭語（語調を整えたりする言葉）としてつけられたと思う。



中心街に位置するホテル

朝食バイキング ¥525
レストラン 梓(2F)
(AM7:00~9:00)
どなた様もお気軽に
団体様要予約

ビジネスホテル
AD ニュープラザ

小千谷市城内1-2-35 (サンプラザ前)
ご予約は TEL (0258) 82-1185
FAX (0258) 83-0156

家をつくりつづけて58年
今後ともよろしくお願ひ申しあげます

(株)丸山工務店
代表取締役 丸山 智義

小千谷本社 TEL 82-3242 FAX 82-0580
川口支店 TEL 89-3038 FAX 89-3379
E-mail:maruko-kawaguchi@herb.ocn.ne.jp
http://www2.ocn.ne.jp/~maruko/

有料広告掲載欄です

10/14

「錦鯉の里」入館者90万人到達

錦鯉の里の有料入館者が90万人を突破し、節目となる90万人目の入館者に記念品が贈られました。90万人目の入館者は長岡市から来られた目崎久美子さんで、この日は娘の明彩夏ちゃんと一緒に来館されました。



目崎さんには、記念品として錦鯉の里のオーナー鯉とその鯉を描いた絵、清酒「錦鯉の里」が贈られました。贈られたオーナー鯉は、目崎さん親子の手により、館内の庭園の池に放流されました。

10/19

まちあるきで 震災復興を振り返る

浦柄地内で「震災復興の軌跡を辿るまちあるきツアー」が行われました。このイベントはNPO法人まちづくり学校が企画したもので、中越大震災で大きな被害を受けた浦柄の復興の様子をたどりながら、約30人がまちあるきを行いました。地元の方々や、被災時に県外からボランティア活動で訪れた方々が案内人となり、当時大量の泥流が押し寄せた集落内や、朝日山古戦場などを巡りました。ツアーに参加した方々は浦柄の地図を片手に案内人の説明を聴き、被災当時の様子を熱心に質問するなどしていました。



10/19

南小学校校史の始まりを刻んだ記念碑

平成25年4月に誕生した小千谷市立南小学校の開校記念碑が建立されました。これは、開校記念事業実行委員会と南小学校が一体となつて進め、地域のみなさんからの寄附と熱意によつて建立されたものです。

記念碑には、市長直筆の「小千谷市立南小学校開校記念碑」と書かれた文字が彫られ、その下には児童・先生方の写真がレーザーで彫られた石板がはめ込まれています。裏面には平成25年3月で閉校した4小学校の名前などが刻まれており、児童や関係者のみなさんはじっくりと見ていました。



10/20

古きよき原風景を水墨画で表現

楽集館で開かれた「早津剛絵画作品展」の開催期間中、早津さんによる水墨画公開制作会が行われました。



会場には早津さんの制作風景をこの目で見ようと、50人以上の方が来場しました。早津さんは紙と筆、硯について説明された後、以前に描いたことのある小千谷の古民家の水墨画を描かれました。マイクを片手に説明しながら、下絵も描かず約10分で水墨画が完成し、集まった来場者のみなさんから拍手が起っていました。

10/27

安心・安全！ 新鮮な地元野菜を提供

J A越後おぢやの城内と片貝の車両センターを会場にして、2013農林まつりが開催されました。当日は時折、雨の降る肌寒い天候でしたが、どちらの会場にもおおいの方が訪れ、とてもにぎわっていました。

会場では新鮮な地元野菜の販売や果物の詰め放題、そばやおにぎりの模擬店などが出店され、行列のできる場所もありました。

またステージではアルビレックスチアリーダースによるショーや、新潟県のご当地ヒーロー「超耕21ガッター」と長岡出身のユニット「ひなた」によるミニショーなども行われ、とても盛り上がっていました。



11月1日(金)～30日(土)「にいがた^{けんこう}健口文化推進月間」 一歩先ゆく健康づくりはお口から^{くち}



イラスト出典：(株)コムネット

心と体の健康を保ち豊かな毎日を送るためには、よく噛んでおいしく食事ができることが大切です。食べることは生きることです。歯やお口の健康づくりの習慣化を図り、将来の世代に伝えていくため「にいがた健口文化推進月間」が設けられました。

■問い合わせ／健康センター保健係 ☎83-3640

むし歯や歯周病予防は 全身の病気予防につながる！

むし歯や歯周病は単なるお口の中の病気にとどまりません。むし歯や歯周病で歯を失うと、噛む力の低下による胃腸障害、記憶力の低下、噛み合わせの悪化による運動能力の低下など、さまざまな問題が引き起こされます。

また、歯周病が進行すると、歯ぐきの中にたくさんある血管を通じて歯周病菌が血流に乗って全身に運ばれ、糖尿病や動脈硬化、心筋梗塞など、さまざまな体の病気を引き起こします。

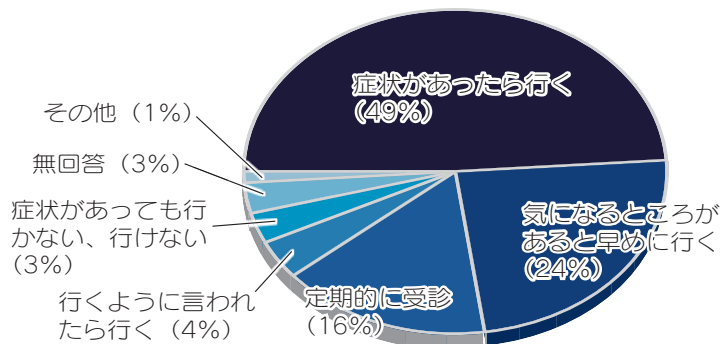
予防が肝心！受けよう歯科検診！ 整えよう生活習慣！

歯周病とは、プラーク（歯せき）の中の歯周病菌が歯ぐきに炎症を起こし、徐々に周りの組織を破壊していく細菌感染症です。

別名「サイレント・ディジーズ（静かに進行する病気）」と呼ばれ、成人の約8割がかかっているとされています。しかし、グラフ1のように、痛みや出血、歯のぐらつきなどの自覚症状がないと受診しないため、多くの方が気づいていません。

また歯周病は、喫煙、ストレス、不規則な生活習慣などが関係する生活習慣病の一つです。たばこを吸う、疲労

グラフ1：どんな時に歯科医院を受診するか
 (平成25年小千谷市健康づくり意識調査)



やストレスをためている、よく噛まずに食べる、間食が多い、つい夜ふかしをしてしまうという方は歯周病に要注意です。自覚症状がなくても歯科医院に定期的に受診すること、正しいブラッシングと歯間ブラシやフロスなどの歯間部清掃用具の使用が大切です。

小千谷の小・中学生は 軽度歯肉炎が増加傾向に！

小千谷市の子どもたちは、むし歯の本数は県内でとても少ない傾向にあり

防災,食フォーラム inうおぬま

伝えよう！命をつなぐ食と健口

歯とお口の健康を入口とした全身の健康づくりを進めていく「にいがた健口文化フォーラム」が開催されます。

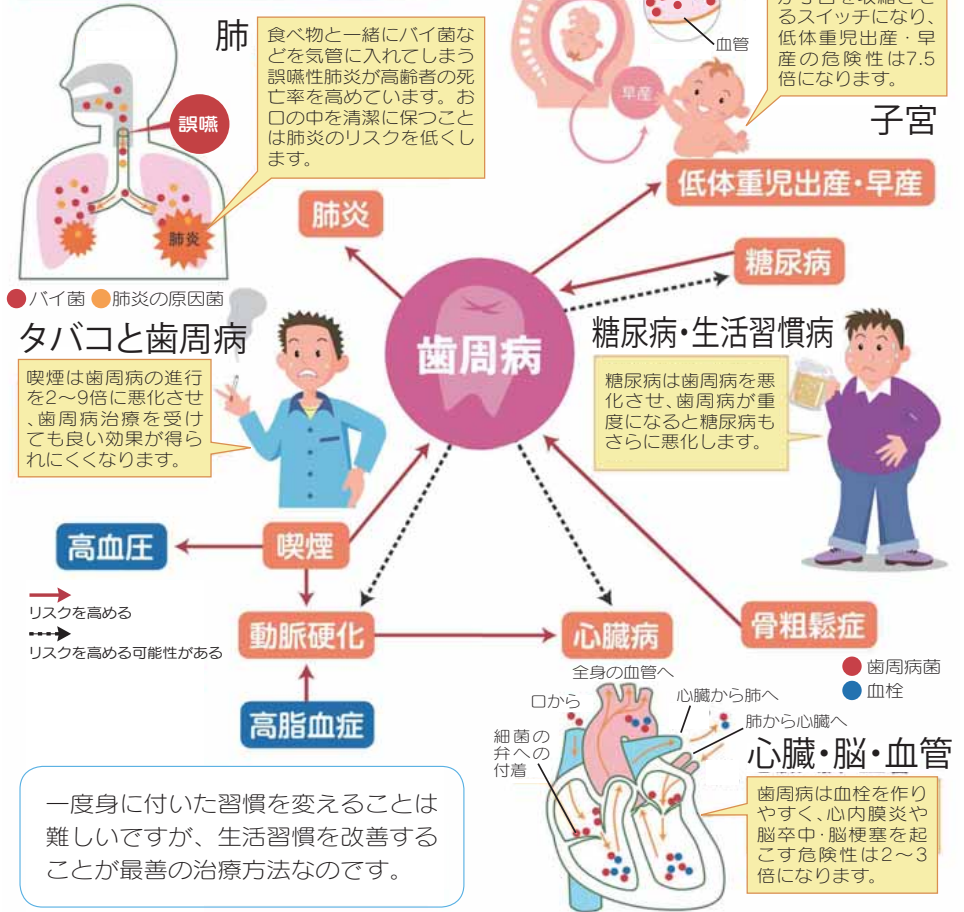
■日時／11月30日(土)午前11時～午後4時

■会場／小出郷文化会館（魚沼市干溝1848-1）

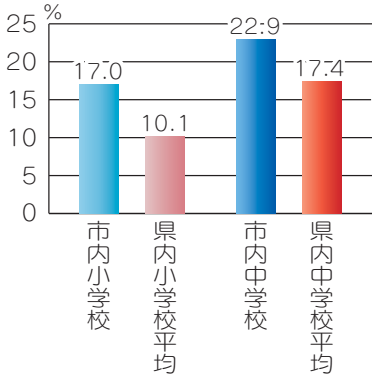
■内容／
▷お口の健康チェック
▷無料歯科相談
▷災害時にもおいしく食べられるレシピ紹介と試食
▷野菜たっぷりヘルシー弁当の販売など

■入場無料
■問い合わせ／にいがた健口文化フォーラム2013運営事務局（平日の午前10時～午後5時）☎025-242-0225

歯周病との深い関係



グラフ2：歯肉炎所見のある児童生徒の割合（平成24年度歯科実態調査）

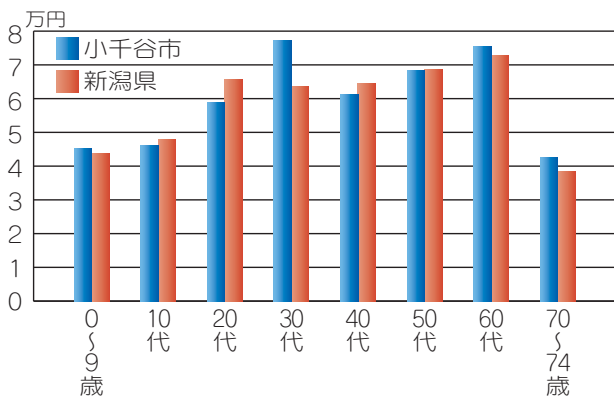


市の国保では、県平均よりも1件当たりの歯の病気の医療費が高い傾向にあります。（グラフ3）
外来受診件数も、最も多いのが歯科

歯科はたくさん医療費がかかっている！

ですが、歯肉炎については県平均よりも多いです。（グラフ2）
歯肉炎は歯周病の初期の段階で、歯ぐきに炎症が起きている状態をいいます。放っておけば症状は悪化してしまいうので、初期段階でしっかり歯科医院で診てもらうことが必要です。
併せて、スポーツドリンクを含む甘味飲料や間食の取り方に注意して、食事をよく噛んで食べる習慣、食べた歯をみがく習慣を家族みんなで実践しましょう。

グラフ3：歯の疾患の1件当たり医療費（平成24年度国保）



ただけです。

子どもから高齢者まで生涯にわたって歯やお口の健康を維持し、お口の中から全身の健康づくりを推進することで、市民一人ひとりがはつらつとした生活を送ることを願い、策定した歯の計画です。詳細は健康センターで閲覧できます。また、市ホームページ <http://www.city.ojima.nigata.jp> からご覧いただけます。

「ご存知ですか？ 歯科保健計画「おちや歯つらつライフプラン」

です。悪化する前に歯科医院を受診すれば医療費負担も軽く、治療期間も短く収めることができます。

お年寄りの心の健康相談会

もの忘れが気になる、やる気が出ない、不眠などでお困りの方やその家族の相談を、精神科医師がお受けします。また、訪問相談も行っていますので、ご希望の方はお問い合わせください。

■日時／11月25日(月)午後1時30分～3時
■会場／健康センター

■相談無料

■申込締切／11月21日(木)

■申込・問い合わせ／地域包括支援センター

83・0807



地方教育行政功労者文部科学大臣表彰



鞍立 常行 さん

小千谷市教育委員会委員長

鞍立常行さんは、永年にわたり小千谷市教育委員会の委員長として教育行政の発展に貢献した功績が認められ、地方教育行政功労者表彰を受けられました。

鞍立さんは、平成8年4月に教育委員に就任し、平成9年10月から委員長として現在に至っています。この間、小学校区再編構想の策定、南部4小学校の統合、市立総合支援学校建設などに尽力されるとともに、自身の大震災の体験を踏まえた安全で快適な学校環境の改善にも積極的に取り組まれています。

鞍立さんは今回の表彰にあたり「みなさんの支えがあったおかげです。委員長になってから特に記憶に残っていることは、中越大震災直後に地域と学校、行政が力を合わせ、不眠不休で学校再開に向けて取り組んだことです。多くの方からお力添えをいただき、今があると思います。」と、一緒に活動したみなさんをはじめ、お世話になったおおぜいの方に感謝の気持ちを語られました。

おじゃまします 菊の訪問

毎月10日号で、市内で活動しているさまざまな団体・サークルなどをご紹介します。

小千谷菊花愛好会の渡辺勇一會長（73歳）にお話を伺いました。

—どのような活動をされていますか—

毎年11月に開催される市総合文化展を目標に菊作りをしています。年に2回、会長や顧問が会員の家へ訪問指導を行います。また春には菊苗交換会や菊作りの講習会を開いています。

—どのような種類の菊を作っていますか—

精興大臣、精興右近、精山春姫、兼六香菊、彩湖大鷹などの品種を作っています。

—会員のみなさんはどのくらいの菊を作っていますか—

平均で20～30鉢。多い方は100鉢前後です。11月の総合文化展には会員13人で約100鉢を出展します。

—菊作りの魅力は何ですか—

菊作りは害虫の駆除や病気・風雨対策など1日たりとも目を離せないため、大変ではありますが、それが生きがいになっています。私は56歳から始めましたが、老後のボケ防止にも役立っています。興味のある方は気軽にご連絡ください。

○訪問後のひと言

一口に菊と言ってもさまざまな種類がありました。会員のみなさんの菊を見るときの眼差しや、菊について熱く語っている様子はとても楽しそうでした。いきいきと生きていました。



小千谷菊花愛好会

会員数：13人 会費：年3,000円
問い合わせ：会長・渡辺勇一 ☎82-7238



△訪問指導をする渡辺会長（左）と西村顧問（中央）

製造業などを開業するみなさんを支援します

市内に製造業や情報サービス業などを開業するために資金を借入れた方の利子の一部などを助成します。

助成を希望される方は、商工観光課までご相談ください。

- 対象／市内に製造業や情報サービス業などを開業する方で、下記「新潟県中小企業創業支援資金チャレンジ枠」による借入れをする方
- 助成対象／借入れにかかる信用保証料の全額と利子額の1/2以内
- 助成期間／借入れの日から起算して3年間
- 申込・問い合わせ／商工観光課商工振興係 ☎83-3512 ☒kanko@city.ojiya.niigata.jp

新潟県中小企業創業支援資金チャレンジ枠

- 対象／これから製造業・情報サービス業・卸売業・小売業などの事業を始める方
- 限度額／1000万円
- ※ただし、自己資金額の5倍を融資限度額とする。
- 資金用途／運転資金、設備資金
- 融資期間（据置期間）／
 - ▷ 運転資金：5年（1年以内）
 - ▷ 設備資金：7年（1年以内）
- 融資利率／年2%



あなたの起業を
モ〜烈に
応援します！



△おぢやイメージキャラクター「よし太くん」

ホットプラザ講座受講生募集

講座受講生を募集しています。受講料・材料費のほかに、ホーム利用登録料1000円が必要です。（今年度登録済みの方は不要です）定員まで随時受付しています。

※各講座とも申込少数の場合、開催しないことがあります。

※申込完了後にキャンセルした場合、材料費などをいただくことがあります。詳しくはお問い合わせください。

■申込・問い合わせ／平日の午前8時30分〜午後9時、ホットプラザ（勤労青少年ホーム）☎82・8510

○魚料理教室

いろいろな魚料理を作ってみませんか。

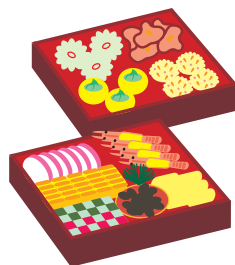
- 日時／11月28日(木)、12月19日(木)、1月23日(木)（計3回）午後6時30分〜9時
- 会場／ホットプラザ1階料理講習室
- 講師／藤巻るい子さん
- 定員／16人
- 受講料／2300円（3回分材料費）
- 持ち物／エプロン、持ち帰り用タッパー

○おせち料理教室

手作りおせちで、お正月を迎えてみませんか。

- 日時／12月5日(木)・12日(木)（計2回）午後6時30分〜9時

- 会場／ホットプラザ1階料理講習室
- 講師／藤巻るい子さん
- 定員／16人
- 受講料／1500円（2回分材料費）
- 持ち物／エプロン、持ち帰り用タッパーなど



手づくり味噌体験

安心、安全そしておいしい味噌を自分で作りませんか。

仕込んだ味噌の持ち帰り(約10kg)と昼食が付いたお得なプランです。

- 日時／12月1日(日)午前10時〜
- 会場／田舎っぺ（旧真人温泉裏）
- ※市内送迎をご希望の方は、ご相談ください。
- 参加料／1万円（昼食代込み）
- ※桶の無い方は、別途で実費味噌桶代（約700円）が必要です。
- 定員／15人
- 申込締切／11月22日(金)
- その他／味噌体験は来年3月上旬にも予定しています。詳細は後日お知らせします。
- 申込・問い合わせ／「キラリ真人」事務局（真人住民センター内）☎863002

サンプラザ臨時休館します

電気工事のため、11月20日(水)はサンプラザ全館臨時休館となります。

お食事処や隣接のけやきばーくも休業となりますので、ご迷惑をおかけします。ご理解とご協力をお願いします。

※錦鯉の里については通常どおり営業します。

■問い合わせ／サンプラザ ☎83・4800

総合体育館
年末年始開館時間のお知らせ

総合体育館は12月29日(日)・30日(月)、1月2日(木)・3日(金)、午前9時～午後5時まで開館します。トレーニングルームも利用できます。

12月31日(火)・1月1日(祝)は年末年始のため休館します。1月4日(土)から通常の開館時間となります。

※その他の施設の年末年始の業務については、市報おぢや12月10日号でお知らせします。

■問い合わせ／生涯学習スポーツ課スポーツ振興係(総合体育館内) ☎83・0077

「幽玄の世界 能楽の楽しみ」展

来年の6月1日に楽集館で行われる「小千谷薪能」のイベントとして、能や狂言に関する資料、写真などの展示を行います。

能楽の楽しさをわかりやすく紹介するとともに、会場に説明員を配置して、みなさんの疑問にもお答えします。

ユネスコの無形文化遺産でもある能楽にぜひ一度触れてください。

■開催期間／11月23日(祝)～12月1日(日)

※毎週水曜日は休館日です。

■時間／午前9時～午後5時

■会場／楽集館1階展示室

■主な展示／小千谷薪能で予定されている能・狂言演目の解説、能関連の写真、能面、鏡板 など

■入場無料

■主催／小千谷薪能実行委員会

■問い合わせ／

▷生涯学習スポーツ課生涯学習係(総合体育館内) ☎83-0077

▷楽集館 ☎82-8282

住生活総合調査にご協力ください

12月1日(日)、全国で平成25年住生活総合調査が行われます。

この調査は、住生活の安定・向上のために、住生活全般に関する実態や居住者の意向・満足度などを5年ごとに調査するものです。

期間中、統計調査員証を持った調査員が、対象となった世帯を訪問します。調査をお願いする世帯のみなさんにはお手数をおかけしますが、ご協力をお願いします。

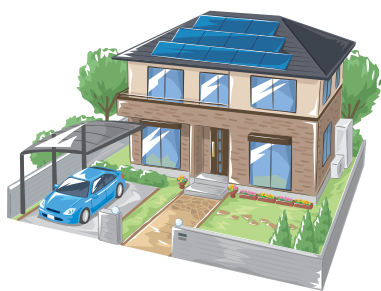
なお、調査内容は統計を作成するためだけに使用し、その他の目的には一切使用しません。

■調査期間／11月21日(木)～12月10日(火)

※調査日は12月1日現在で行います。

■調査対象世帯／10月に行われた住宅・土地統計調査に回答いただいた世帯の中から一部を抽出し、全国で約10万世帯を対象に行います。小千谷市では、無作為に抽出した136世帯に調査をお願いします。

■問い合わせ
建設課建築住宅係 ☎83・3514

東山里山子育て支援ひろば
「木のこん」イベント情報

■会場／東山里山子育て支援ひろば「木のこん」(東山住民センター内)

■対象／未就学児とその保護者

■申込・問い合わせ／木のこん(東山住民センター内) ☎59・2003

○冬じまい&山講座

地元の方に習いながらみんなで遊具などを片付けましょう。火起こし、ロープ縛りなども伝授してもらい、かまどでお味噌汁を作って食べましょう。

■日時／11月15日(金)午前10時～午後1時(悪天候時は18日(月)に延期)

■講師／片岡富雄さん(農家・魚沼棚田倶楽部代表)

■参加料／1組100円

■定員／15組※申し込みが必要です。

■持ち物／味噌汁具材、お弁当、水筒、敷物、雨具、着替え、ビニール袋

○子ども図書ルーム「読りくむ」
オープン記念・読み聞かせの会

絵本や育児書などがたくさんある図書ルームができました。その記念として、ミックスピ座による読み聞かせの会を開催します。

■日時／11月22日(金)午前10時30分～11時30分

■参加無料・申込不要

■まちのうごき（10月31日現在）

人口と世帯数 ()内は前月比		気象データ ※					消防本部出動状況			交通事故発生状況		
		25年10月	過去10年 の平均	25年 1月～10月	24年 1月～10月	25年 1月～10月	24年 1月～10月	25年 1月～10月	24年 1月～10月			
男	18,832人(-35)	出生	29人	平均気温	16.7℃	15.6℃	火災	18件	22件	件数	91件	124件
女	19,298人(-8)	死亡	35人	最高気温	32.4℃	27.4℃				死者	1人	2人
合計	38,130人(-43)	転入	41人	最低気温	7.4℃	5.8℃	救急	1225件	1287件	傷者	120人	152人
世帯数	12,712世帯(-23)	転出	78人	降水量月計	242.0mm	181.1mm						

※気象データは、小千谷市消防本部速報値です。(観測地：元中子)

ハッピーパパママ
うぶごえ教室

妊婦やその夫、1歳未満のお子さんを持つお母さんなどを対象にした教室です。

出産や子育てについて学んだり、参加者同士の話し合いで気軽に不安解消できる機会です。手作りスイーツもあります。おいしく楽しく交流してみませんか。

■日時／12月12日(木)午前9時40分～正午(受付：午前9時30分～)

■会場／健康センター

■内容／助産師の講話と座談会、リラックス体操、スイーツタイムなど

※男性参加者は妊婦体験や簡単な育児体験ができます。

■持ち物／母子健康手帳

■申込締切／12月9日(月)

■申込・問い合わせ／健康センター保健係 ☎83-3640

絵本作家・松岡達英さんのおはなし会
「自然はともだち」

『ぴょーん』や『ぼくのロボット恐竜探検』『野あそびずかん』『だんごむしうみへいく』など、自然や昆虫の絵本で大人気の絵本作家・松岡達英さんの講演会を新潟県教育委員会の主催で開催します。

松岡さんは、長岡市にアトリエがあり、県内の野山での自然観察会も定期的に行われています。直接絵を描いてスクリーンに映しながらの講演会です。どうぞ気軽にお越しください。

■日時／12月1日(日)午後1時30分～3時

■会場／市民会館2階中会議室

■対象／小学4年生ごろ～大人

■定員／先着40人

■入場無料

■申込・問い合わせ／図書館 ☎82-2724



『ぴょーん』ポプラ社



『あまがえる先生まよせいのびっくりコンサート』ポプラ社

12月

乳幼児の健康診査日程

■問い合わせ／健康センター保健係 ☎83-3640

▶会場は健康センターです。発熱や発疹など、普段と違う症状のあるお父さんは、翌月の健診日にお越しください。

▶乳幼児健診の実施日には、先着順に番号札をお渡しします。

▶番号札配布開始時間／午前に開催の場合：午前8時30分～、午後開催の場合：正午～

健診名	対象	期日	受付時間	持ち物	その他
4か月児健康診査	平成25年7月生まれ	12月5日(木)	13:00～13:10	母子健康手帳、バスタオル、替え用のオムツ	離乳食講習会を同時に行います。
10か月児健康診査	平成25年1月生まれ	12月4日(水)	13:00～13:10	母子健康手帳、替え用のオムツ	離乳食後期の講習会を同時に行います。
1歳6か月児健康診査	平成24年5月生まれ	12月19日(木)	13:00～13:20	母子健康手帳	歯科検診を行います。歯をみがいてからお越しください。
2歳児歯科検診	平成23年11月生まれ	12月18日(水)	9:00～9:10	母子健康手帳、お子さんの仕上げみがき用歯ブラシ	幼児食講習会と歯科衛生士によるブラッシング指導を行います。歯をみがいてからお越しください。
3歳児健康診査	平成22年11月生まれ	12月17日(火)	13:00～13:20	母子健康手帳、目と耳のアンケート、生活習慣アンケート、採尿した容器	歯科検診を行います。歯をみがいてからお越しください。



小千谷を描く No. 469

深地のハバから 眺めて（日吉）

日吉の深地のハバから眺めると越後三山がかすみがちに見えました。今年の十月は台風におどろかされました。予報の進路からすると小千谷にも心配させられましたが、幸いのことでした。でも伊豆大島の方々のことなどを思うと胸が痛みます。

十一月は菊薫る文化の月です。せめておだやかな気候で晴れやかな気持ちで過ごしたいですね。

お茶でもものもうて。柿でもむいて。

（絵と文は西脇正久さん）

● 現在園は「よし太くんをもっと市報に載せようキャンペーン」を個人的に張っています。よし太くんは市のイメージキャラクターですが、市報には小さな写真でしか登場してきませんでした。もっと市民のみなさんにも知ってほしい！という思いを込めて、今後も除あらば載せていきたいと思います。 園

● クラインガルテンの収穫祭にお邪魔しました。会場にはたくさんのお新鮮な野菜が並び、悪天候にもかかわらずおせいの人でにぎわっていました。取材を終えた私は、気になっていたバターナッツカボチャのスープを購入。ほんのり甘くまろやかで、とてもおいしかったです。 園

● 今年も10・23のつどいが行われました。築集館でのつどいが終わった後、塩谷の慰霊碑に行きました。地震発生時刻を過ぎてもいきましたが、それでも何人かの方が手を合わせて来られました。来年度発生から10年が経ちますが、いつまでもこの日が特別な日であることは変わらないでしょう。 園

編集室だより

ちぢみの里の利用券が当たる
解答をはかきでお送りください。
正解者の中から、抽選で3人に
ちぢみの里の利用券を贈呈します。
市報おちやの感想もあと担当は
うれしいのですが...

広報クイズ

問題

錦鯉の里の有料入館者は、今年の10月14日で何万人に到達したでしょうか。（ヒントは9ページ）

①70万人 ②80万人 ③90万人

■**応募先**／郵便番号、住所、氏名を明記のうえ、次の宛先までお送りください。

〒947-8501 小千谷市役所企画政策課秘書広報係（住所は記載不要です）

■**締切**／11月25日（当日消印有効）

10月号の答えは①「バリウム」でした。抽選の結果、次の方々が当選しました。

新保春夫さん 鈴木幸子さん
山口健太さん

緊急情報メールの登録をお願いします

災害時の避難情報、災害発生情報、気象警報などを速やかに配信します。

登録方法などの詳細は市報おちや6月25日号、または市ホームページ <http://www.city.ojiya.niigata.jp/> に掲載しています。

■登録用アドレス

bousai.ojiya-city@raiden.ktaiwork.jp

■QRコード

